

貧困地域への国際支援



今月のAIヌードル



●昨年11月にレポートした和食高級ダイニング「SABOH Rikyu」がついにOPEN。富裕層をターゲットにしているため、店舗の内装や器などの準備に約1年を費やした。お店からの希望により小麦の表皮や胚芽も全てまるごと挽いた「全粒粉」入りの麺を使用して試作し、最終的にインド産の全粒粉にタピオカ粉を混ぜた麺が採用された。プレオープン中に挨拶と試食に訪問。麺メニューは「東京ラーメン」の他に、辛味ラーメン、辛味つけ麺、明太子うどんの4種類になるもよう。



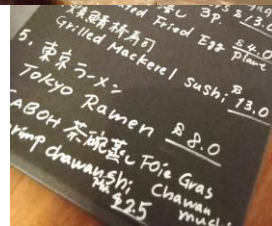
やきそばパン用の麺をつくる

●スタッフのセタが配達をしていたところ、日系パン屋のオーナーから声をかけられた。東京三軒茶屋で営業した「Sancha」というパン屋で、カンボジアでもう8年以上営業していて、価格は高めながらも人気のお店。その後Facebookからも丁寧なメッセージをもらい、やきそばパン用の麺を試作することになった。カンボジア人にはやきそばパンはなじみがないので、スタッフにも食べさせることに。少し前からAIヌードルスタッフTシャツを製作し着用している宣伝効果があったかもしれない。

「仕事に困るカンボジアの若者に、働ける場所を」という思いから製麺所「AIヌードル」を2015年に設立し、活動を続けています。

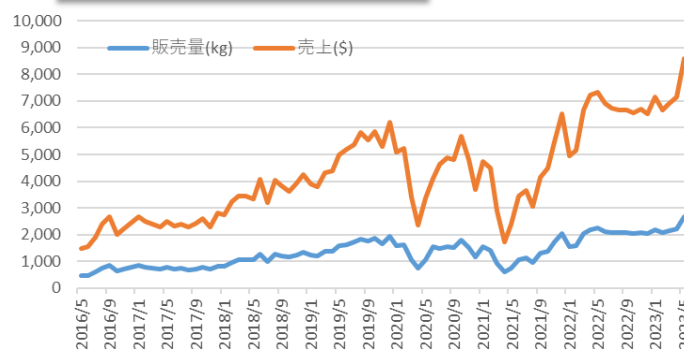


◀SABOH Rikyu の東京ラーメンと使用したインド産全粒粉



▲スタッフTシャツを着る
(左) 大塚代表 (右) ワンナ

AI ヌードル 販売・売上推移



カンボジア絵本寄贈プロジェクト

カンボジアの子供たちの読書活動の普及啓発を目指し、(社) ソーシャルコンパス制作の『ありがとう絵本』1,000冊の印刷発行そして配布イベントを支援するプロジェクト。

◀▼小学校の児童にプレゼント



タイ国境の町ポイペトのあるバンテイメンチェイ州の小学校を訪問し、研修旅行に来ていた日本の高校生から絵本をプレゼントしました！



エコキャップでのワクチン支援

皆さまに集めていただいたキャップは障害者施設で洗浄され、売却後の寄付金は「世界の子どもにワクチンを日本委員会」を通じて途上国に送られます。

今回の回収キャップ (2023/5/30分)

重量	換算寄付額
6.80 kg	68 円
ポリオワクチン	Co2削減量
約 3.40 人分	21.42 kg
これまでの合計	
総重量	13.6 t

今後ともご協力いただけますようお願いいたします。

「SDGsスマイルプロジェクト」は、施設等に設置している飲料自動販売機の収益を活動資金とした取組です。このプロジェクトでは、国内外の貧困問題・社会問題に利用者様と職員が力を合わせてアクションを起こしています。

